

万引の無い社会の実現に向けて企業・地域・行政が連帯

# 万防時報



第28号  
2021年4月

第29回 セキュリティ・安全管理総合展

## SECURITY SHOW 2021 セミナー特集号

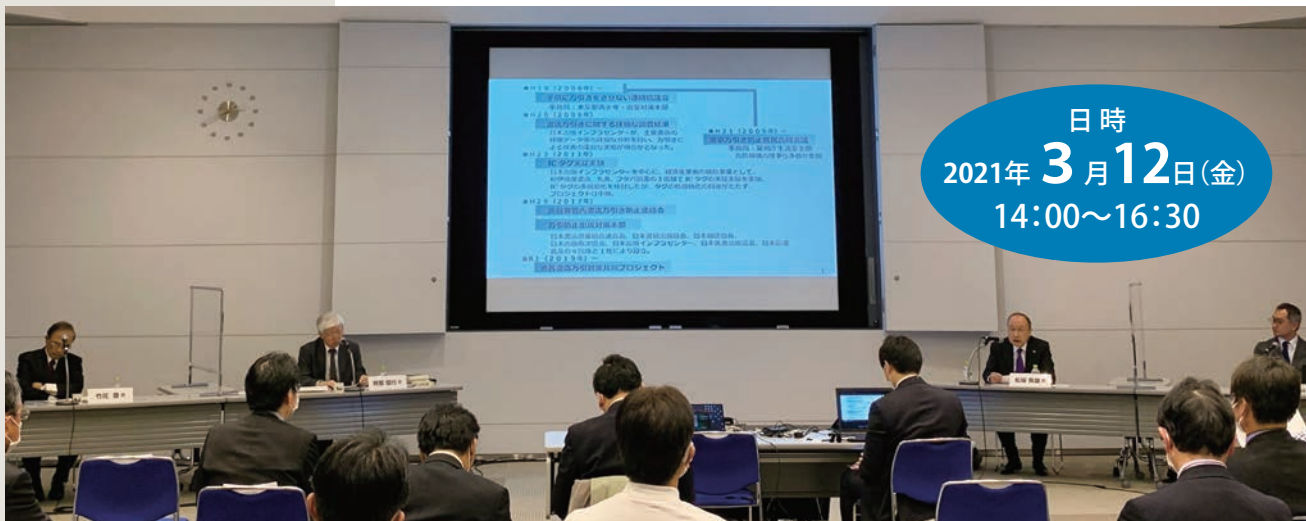
基調講演

### 「新しい時代のロス対策・万引対策」

P.4

こうすれば万引きは減らせる!!

竹花 豊 特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構 理事長



会場／東京ビッグサイト 会議棟6階 605会議室 (収容約60名) 主催／特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構  
共催／日本経済新聞社 配信／日本経済新聞社主催「SECURITY SHOW Online」内YouTubeによるライブ配信

パネル  
ディスカッション

P.5-9

### 異なる事業者間での犯人被害情報の共有と活用

(1) 渋谷書店万引対策共同プロジェクト (2) 緊急通報システムプロジェクト

### ロス・プリベンションの啓発と普及

### 高齢者の万引対策

### インターネット市場の盗品転売対策

P.2-3

スペシャル対談 具志堅 用高氏 × 万防機構副理事長 樋口 建史

P.10-11

万防機構が推進している事業

P.12-13

統計資料に見る万引犯罪の現況

P.14

各地、各業界の万引対策の取組み状況

P.15

会員紹介(団体・個人)

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を実践しています

万防機構 副理事長  
**樋口 建史氏**



**ボクシングと万引き**

元プロボクサー・タレント  
**具志堅 用高氏**

プロフィール  
1955年沖縄県石垣市出身 65歳  
元プロボクサー・タレント  
元WBAライトフライ級王者  
世界王座防衛13度の偉業  
2014年国際ボクシング名誉の殿堂  
オールタイム部門に選出される  
バラエティ番組に多数出演

**樋口** 今日は「ボクシングと万引き」というテーマでお話をお聞かせいただければ幸いです。

最初に万引きの実態について申し上げますと、全国の小売業の年間の総売上げが約100兆円として、0.5%の約5,000億円が万引きの被害額と推計されています。

**具志堅** 今はいろいろなところに防犯カメラがありますが、減らないんですか。

**樋口** カメラは確かに効果があるんですが、お客さんの反発を懸念する向きもありますしコストがかかりますから、現場の人たちの多くは必要と考えているのですが、経営者の理解がなかなか得られないといった事情もあるようです。

**具志堅** 現場の人は苦労しているんでしょうね。

**樋口** お客さん相手の商売ですから、不快感を与えてはまずいですし、間違えて声を掛けたりすれば大変なことになります。そのところが難しいんですね。

たかが万引じゃないか、と言われたりもしますが、たとえ小さな犯罪でも安易に見過ごすと社会の規範意識がゆるんでしまいますので、キチッと見咎めることが大事です。そういった取組みの積み重ねが、安全で安心な社会づくりにつながっていくんだと思います。

ところで、直感的に、ボクシングと万引き対策には共通するものがあるように思います。犯罪を撲滅する

正義感とか、遵法精神とかが思い浮かぶのですが、ボクシングの道を極められた具志堅さんは、どのように感じておられますか。

**具志堅** もちろん万引きは知っていますが、これまで余り考えたことがなかったです。

そう言えば、現役の時に、警視庁の防犯ポスターの顔になったことがありますよ。「ガードを固める」というキャッチフレーズでした(笑)。昭和50年代だったと思いますが、交番などあちこちに貼られていて、街中でポスターの自分を見るたびに、気持ちが引き締まった思い出があります。

**樋口** 万引きはれっきとした犯罪なのですが、実は、社会として万引きをどう扱うべきかについては、世論が定まっていない部分があります。

2003年の事件ですが、川崎市内の古書店で万引きした少年を店長が見咎め警察へ通報したところ、逃げ出した少年が踏切に侵入し電車にはねられ亡くなりました。その後、店長は激しい抗議に晒され、閉店に追い込まれました。非常に考えさせられる事件でした。

やはり、万引き対策を、いろいろな立場の人たちが協力し合って進めていくためには、万引きは安易に見過ごしてはいけない犯罪なんだという認識が、広く社会の中で共有されていることが不可欠であり、そのことが大前提だと考えています。

**具志堅** そうだったんですか。なかなか難しい問題ですね。

**樋口** 当機構は、万引き被害を防ぐにはどういった方策が効果的か、その知識や技術の普及にも取り組んでおりまして、最近では、当機構のアドバイスを受けて、新たな対策を導入していただいている企業が増えてきています。

今後どこまで対策が進むかどうかは、経営者の方の考え次第だと思います。先ほども申し上げましたが、お客さん相手のビジネスですから、人を配置するにしてもカメラ・システムを導入するにしても、その理解を得ることがマストであり、また、コストの点でも、経費として許容できるものでなければならぬですね。その辺りの最終判断は、やはり経営者が、万引き問題をどのように考えておられるかにかかってきます。

具志堅さんは、お知合いに企業経営者の方も多いと伺っております。是非、こういった事情をご説明いただけると有り難いです。

長話をして申し訳ありません。ボクシングの話をお願いします(笑)。

**具志堅** 分かりました(笑)。

何にでも規則やルールがありますが、守らないと意味がないです。みんなが守ることが大事ですね。社会はそれで成り立っていますからね。

私は、10年ほど現役をやってましたが、毎日同じことの繰り返しでした。毎朝、必ず近くの皇居を走ります。最初のころは、働いていたとんかつ屋のスタッフと暮らしていたのですが、夕方になると、千

駄ヶ谷のジムに行って猛練習です。毎年、年間スケジュールが与えられるんですが、それをしっかりと守りました。それがあったから5年間タイトルを守れたんです。

それと周りの人たちとのチームワークが良かったです。リングには一人で上がりますが、ジムでのチームワークに支えられてましたね。

**樋口** 当時、ジムの会長さんが「100年に1度の逸材」と言っておられましたね。

**具志堅** キャッチフレーズ作りとマスコミの対応がうまくいったです。チャンピオンになってからはいろんな人が近付いてきました。ジムの人々が警視庁の方と知合いで、いろんな警察署で一日署長をやりました。

**樋口** 警視庁にご協力いただき有り難うございました。しかし、どなたにお願いするか“審査基準”が厳しいんですよ（笑）。具志堅さんなら、ということをお願いしたんですね。

**具志堅** 一日警察署長をさせていただいた後は、いつでもチャンとしていなくちゃいけないと思い、何をしても気が抜けませんでしたね。

**樋口** ところで、ボクシングは恐怖心が大きいのではと思いますが、どうやって打ち勝ったんですか。

**具志堅** 試合前はジムに行くのも怖かったですよ。体重づくりに失敗するのも怖かった。失敗すると試合が中止になって迷惑かけちゃいけないですからね。私のころは、試合後にすぐ次の試合が発表され、チャンピオンの5年間は休む暇がありませんでした。途中から会長のマンションに住めと言われて、スケジュールを管理されてましたから、試合のことばかり考えていて、休めなかったです。

しかし、辛抱することは大事です。チョットでも諦めたら終わりですからね。耐える力が大事なんです。辛くて辛くて試合したくないと思うんだけど、やっちゃうんですけれどね。

**樋口** それはどういうことなんですか。

**具志堅** 辛いことを乗り越えるのが

いいですね。達成感があります。試合が終わって1週間が楽しいんです。それが終わればまた、辛い次の試合の準備です（笑）。

**樋口** 万引き防止の世界でも、全国の現場で、黙々と努力している人、苦勞している人が大勢います。ご自身の経験に照らして、励ましの言葉をいただけますか。

**具志堅** どの世界でも同じだと思いますが、夢や目標がないと前に進めません。ハッキリした目標を持つことが大事ですね。周りの人たちの協力がなければ戦えないということもあると思いますが、強い気持ちを持った人だけが勝てる。チャンピオンになる人はそれを持っている。競り合った時に、気持ちの強さが出ます。

それから練習です。最後の最後は練習をどれだけ頑張ってきたかの差が出るんです。

**具志堅** 最近、犯罪が減っていると聞きましたが、万引きはどうなんですか。高齢者が多いとも聞きましたが、なぜなんですか。

**樋口** 仰っていただいたように、犯罪の総数は減少してきているんですが、万引きは横ばいです。1年間で約5万1千人が検挙されています。そのうちの41%が高齢者です。動機については、お金は持っているが使いたくなかったとか、一人暮らしで孤独だったとか、そういった人が食品等の万引きを繰り返す事例が多いです。高齢者自身にとっても被害に遭う店舗にとっても深刻な問題になっておりまして、今、対策の検討を進めています。

**具志堅** それは大きな問題ですね。

それから2、3人のグループでやるのも万引きって言うんですか。外国人グループもいるらしいですね。

**樋口** そうなんですよ。万引きとして捉えているんですが、これがまた大きな問題なんです。こう

いった万引きの場合は、盗った物を梱包して海外に送って捌いたり、ネットのオークションやフリマで売って換金するんですが、いわば犯罪ビジネスです。外国人グループは、日本人と連携していることも多いのですが、組織犯罪ですね。これらに対して、今、警察や関係する事業者の皆さんと協力して、対策を進めているところです。

**具志堅** そうなんですか。本当にご苦勞さまで。しかし、万引きは幅が広いんですね。

万引きって言葉は、どういう意味なんですか。窃盗って犯罪がありますが、何が違うんですか。

**樋口** 諸説あるんですが、江戸時代に、よろず(万)とる(引く)ということで名付けられたという説があります。

万引きは手口の名称で、罪名はれっきとした窃盗なんですよ。

万引きという軽く受け止める人もいますので、これからは是非、万引きは窃盗ですと、警鐘を鳴らしていただけると有り難いです。

**具志堅** 分かりました。

万引きくらいいいや、というのは絶対にダメですね。

昔、海外で、ジムワークが終わって帰る時、使っていた縄跳びが無くなっていたり、パンチンググローブを持っていかれることがよくありました。日本は、そんなことにならないようにしたいですね。

**樋口** そうですね。そうならないように頑張りたいと思います。

今日は、貴重なお話をいただき、誠に有り難うございました。





## 「新しい時代のロス対策・万引対策」 こうすれば万引は減らせる!!

特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構  
理事長 竹花 豊

2017年に東京ビッグサイトで万引対策強化国際会議を初めてやり「万引対策強化宣言」を採択しました。それを具体化する作業を小売事業者の方々、警察そして地域の方々とは協力してやってまいりました。その成果の一部をご報告します。

### 1 万引きの現状

万引きの実態を正確に把握されている方は少ないと思います。あるイギリスの調査機関の4年前の推計では、日本では約7,000～8,000億円、アメリカでは5兆円の万引被害があると報告されています。そういう漠とした状態の中で、万引きは全体としては若干減ってはいますが、警察が認知する刑法犯の総数の1割以上を占めています。そして警察が検挙する犯人の3人に1人は万引犯であり、社会全体として大きな問題です。

後でお話する渋谷プロジェクトでも、万引きは減っておらず、新たな犯人が店を狙ってうごめいている状況が続いています。

### 2 我々は何をしてきたのか？

様々な対策を実施していく中で、被害者の皆さまの間に、一人で戦わず、被害者同士が協力して戦おうという動きが出てきています。渋谷プロジェクト・緊急通報システムはその典型です。

被害者同士の話し合いで「小売事業者だけの対応では無理であり、警察が捕まえることで初めて被害を防止できる」ということを警察に話し、協力を得て犯人検挙に結びつける「警察と被害者の連携強化」が格段に進みました。

また、インターネットを利用した盗品の処分についても対策を講じて、減小させる取組みを始めています。

それから万引犯人の4割以上を占め

る高齢者の万引問題があります。これに対する取組みも神奈川で始まると共に、当機構でも警察を含めていろいろな方々とディスカッションを重ね対策を打ち立てようとしているところです。

### 3 これまでの取組みは功を奏してきたのか？

様々な取組みをしてきましたが、現状は万引きを大きく減らしたとか、万引問題に転換点をもたらしたという状況にはありません。むしろ、大海に数滴程度の取組み、群がる蟻の侵入を防ぐために金網を設置した如くであるというのが私の印象です。何故大きな効果をあげないのか。私は当機構のホームページに「やけくそ万防日記」を掲載しています。面白いですから読んでみてください。

万引きは、警察に捕まえてもらい処罰してもらえば防げるというものではありません。小売事業者がどう対抗するかが大きなテーマです。自分達で出来ないことは警察に協力してもらい、小売事業者の皆さまが主導権を取ってやるのが重要です。にもかかわらず現状がそうっていないのは、全体としてこの問題への社会の取組みが本気ではないのが大きな原因でしょう。

### 4 万引を減小させるカギ1

#### 《店舗の対策強化》

万引対策の強化は、経営指針の重要な柱であるべきです。

アメリカでは、大手の小売事業者は、株主総会でロス問題を厳しく追求されます。ロス部分は利益を直接喰うからです。日本の株主は無関心ですが、事業者の方々には万引きがあることを恥だと思わず、万引きを起ささせている社会的責任をきちんと考え、話し合いをして互いに学ぶことが大

切です。例えば千葉市の市川ビルで万引きを激減させた取組み事例があります。当機構には、様々な被害情報や犯人情報が寄せられますので、その情報を多くの事業者の方々に知ってもらいたい。そのためには当機構の会員になり情報交換の場に参加していただき、万引きしにくい店舗作りを前向きに考えていただきたいと思います。

ハード面として、防犯カメラの設置は必要不可欠です。日本万引防止システム協会から情報を得たり、当機構にご相談いただき店舗診断するのも一つの方法です。

ソフト面では、万引対策について基本的な店の方針を決め、不明ロスをなくすことや、また、お客様の目を見た挨拶等、従業員と気持ちを合わせた取組みが有効です。

### 5 万引を減小させるカギ2

#### 《創造的な取組みの本格化》

足立万引き防止プロジェクトという取組みが本格的に始まりました。区が先頭に立ち、4つの警察署と小売事業者が被害情報を交換し、ハード面のお金を区が支援する地域こぞでの取組みで、今後大きな成果を生むことを期待しています。

また福島県警の「ストアセキュリティふくしまネットワーク」があります。福島県警が中心になって、県内の多くの事業者が被害情報・犯人情報を持ち寄って対応する取組みです。

### 6 取組みをコーディネートする当機構の体制強化は急務

万引情報の発信や対策の検討、普及・啓発活動の主体は当機構であり、他に万引問題を扱っている民間NPOはありません。しかし財政と活動力が乏しいため、取組みや対策の歩みが遅いという問題を抱えています。今後、渋谷プロジェクトを全国展開するにしても、担う人がいなければ広がりません。どうぞ皆さま方、ご理解いただき、当機構の会員となり盛り上げていただければ幸いです。

### 2021年全国万引犯罪防止機構通常総会について

- 日時／2021(令和3)年6月15日(火) 14:00～16:30
- 場所／主婦会館(東京都千代区六番町15 JR四ツ谷駅前)
- 2021年度通常総会

#### 【新型コロナウイルス感染拡大防止への対応】

通常総会は開催の予定で進めていますが、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、縮小、変更等が考えられます。今後につきましては、ホームページ等で最新情報をお知らせしますので確認をお願いします。

## インターネット市場の盗品転売対策

万防機構理事 インターネット委員会 委員長 若松 修

このパネルディスカッションでは、ヤフーの吉田理事より初回出品時の本人確認など「ヤフオク！」における不正出品への対策が、メルカリの吉川理事からは不正出品のモニタリングや本人確認の強化など「メルカリ」の不正出品への取組みの現状について説明がなされました。

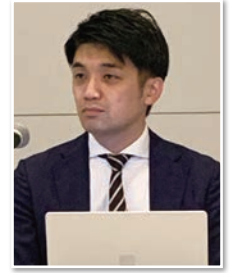
### 今後の活動

両社の取組み事例を踏まえ、インターネット委員会では、当面の取組みとしてアパレル関係の小売企業にターゲットを絞り、ワーキンググループを設置して具体的な不審な出品への対策の検討を進める予定にしています。

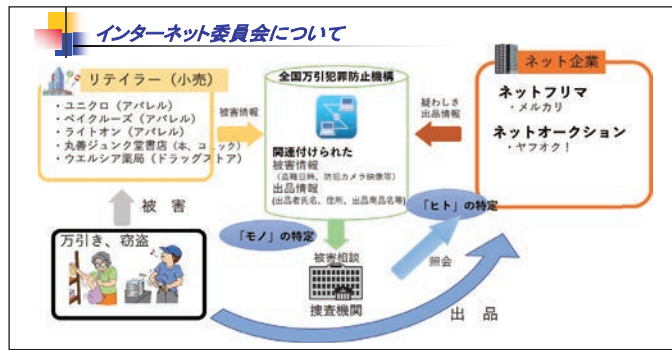
当面は、ネットサービスへの出品の中から不審な出品を検索・抽出する方法について精力的に取り組んでいくことにします。



ヤフー(株)  
政策企画本部長  
万防機構理事  
吉田 奨氏



(株)メルカリ  
政策企画ディレクター  
万防機構理事  
吉川 徳明氏



## 高齢者の万引対策

万防機構 事務局長 光真 章

高齢者による万引きは年々増加しています。高齢社会が急速に進む中ではありますが、人口比を大きく上回る犯罪統計の数値や6割に上る再犯率など看過できない事態になっています。それらの背景には生活苦という事由もありますが、経済的な不安感からか「節約」という動機が大半を占めています。高齢者には厳罰措置や規範意識向上といった対処では解決が難しい要因が垣間見えます。更生など法務や福祉行政にも関わる問題が浮き彫りになっています。

高齢者の万引防止対策として、福島県警察で市民に「万引防止アドバイザー」を委嘱したり、各地域の老人クラブで「万引きやめさせ隊」を編成して、スーパーの巡回や啓発チラシを配布して「高齢者仲間の万引きをなくそう」と活動して犯罪抑止の成果を上げたことや富山県で小学生から防犯標語を募集してスーパーに掲示するなどして、万引きを減らした事例があります。

また、店頭での対応策として、書店で「お買い物マナー」、スーパーなどでの「マイバッグ使用店内マナー」のポスターを掲示したり、店内放送で万引防止を呼びかけることも有効な方法です。店内放送の例では、「皆様に安心してご利用いた

だけるよう、警察と協力し、万引きのない明るい店づくりに取り組んでいます。もし、万引きを見つけたら、見て見ぬふりをせず、お店の方に知らせてください」（福岡県万引防止連絡協議会）などがあります。

万引対策の基本は、声掛け、挨拶で万引きをさせない店づくりにありますが、最近拡大してきたセルフレジでは、一部商品をスキャンしないで持ち去る不正があります。セルフレジを見渡すカメラ付きモニ

### セルフレジの不正対策

セルフレジの導入目的は、これからの人手不足に対応することでもあり、利用していただくことがまず必要です。そのため配置される位置は、レジ精算に向かうお客様の導線の初めの位置がいいでしょう。セルフレジの場合、一人の従業員で複数のレジ精算を担当しますので、意図的な未精算に注意が必要です。アテンダントステーション(担当者の管理PCのあるところ)は、セルフレジ全体を見渡せる位置にしましょう。

セルフレジには正しく登録されているかどうかのサポートとして、重量チェック機能、手元を映し出すカメラ機能、登録しているお客様を映し出すカメラ・モニター機能などがあります。

#### ★セルフレジにカメラ付きモニターの設置

カメラ付きモニターの設置により、お客様がレジ登録している姿が、モニターに映し出されます。

これにより、不正行為を未然に防止することができます。試験導入の段階で、お客様のクレームなどもなかったため、全セルフレジに導入しました。担当者からも不正登録を防いでいるとの声をいただいています。 <https://www.takachiho-kk.co.jp/prod/ipcamera/pvm/>



(株)ベイシア  
流通技術研究所 所長  
重田 憲司氏



万防機構  
事務局長  
稲本 義範

ターを設置し、お客様が商品をレジ登録している姿を目前に映し出すことによって、不正行為が見られていることが強く意識されて不正が抑制されるという効果が生まれています。

支援会員／7団体 ※50音順

ウエルシア薬局(株) (株)メルカリ  
 日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合 ヤフー(株) (ほか2団体)  
 (株)ファーストリテイリング

団体会員／94団体 ※50音順

アイギスセキュリティ合同会社	(株)自己啓発協会	(一社)日本DIY・ホームセンター協会
アクシスコミュニケーションズ(株)	ジャパンセキュリティサービス(株)	(一社)日本フランチャイズチェーン協会
(株)アクロス	(株)スギヤマ薬品	工業会 日本万引防止システム協会
亜細亜印刷(株)	(株)セキュリティデザイン	日本レコード商業組合
(株)アトレ	(一社)セーフターインターネット協会	(株)白泉社
(株)ウェリカジャパン	セフトHD(株)	(株)パン・パシフィック・インターナショナル ホールディングス
うさぎや(株)	(一社)全国警備業協会	(株)ブックエース
(株)エイジス	(一社)全国スーパーマーケット協会	(株)バイクルーズ
Enazeal(株)	(株)総合タツプ	(株)ベイシア
(株)エム・アールビジネス	高千穂交易(株)	マイティキューブ(株)
(株)KADOKAWA	チェックポイントジャパン(株)	Matsuo Sangyo(株)
(株)杏林堂薬局	(株)店舗プランニング	(株)三宅
くまざわブックチェーン共同組合	(一社)東京都警備業協会	(株)メイクスジャパン
(株)講談社	(株)トーハン	(株)ライトオン
(株)光文社	(株)NICCOサポート	(株)リブロプラス
(株)ゴジョウ・ウエイズ	(一社)日本ショッピングセンター協会	(一社)ロスプリベンション協会
(株)コスモス薬品	日本書店商業組合連合会	ワールド警備保障(株) (ほか37団体)
コミー(株)	(一社)日本スーパーマーケット協会	
(株)三洋堂書店	日本チェーンストア協会	
(株)JSS	日本チェーンドラッグストア協会	

個人会員／49人 ※50音順

赤嶺 陽介	佐藤 聖	富田 仙恵	原山 進	村上 初江
浅井 研	新谷 珠江	仲 良二	福井 昂	山内 浩司
阿部 信行	菅野 美津江	難波 克行	福井 直樹	米本 昌子
佐々木 久美子	竹花 豊	野口 京子	光眞 章	和田 直樹 (ほか29人)

万防事務局だより

委員・講師派遣について

普及推進活動の一環として、地方公共団体依頼のセミナー、小売業団体からの万引防止講座、学校・PTA主催のセーフティー教室やフォーラムへの委員派遣、家庭裁判所や拘置所での講話を行っております。最近ではモデル店舗認定の審査員やTV・ラジオへの出演など、活躍のフィールドを広げております。その中で皆様との対話を強化していく所存です。ご相談ページを準備しましたのでご利用ください。

事務局から

世界規模の新型コロナウイルス感染拡大が国内では「第4波」とも言われる状況に見舞われています。会員の皆様には、収束の見えない中で経営の維持に渾身の努力をされておられることと拝察いたします。万引情勢はコロナ禍の影響とも見られる多少の減少傾向も伺われますが、依然として下げ止まりの状態にあります。引き続き万引防止の諸課題に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。